



No. 49

1991. 10. 2

佐賀大学情報処理センター

内線 (2592)

1. MV/UX (UNIX系OS) の利用について

1. MV/UX (UNIX系OS) の利用について

センターの計算機には、UNIX系OS (MV/UX) が搭載されています。

センターの計算機にログインすると、日本DG社の汎用OS (AOS/VSI) の環境に入るようになっていますが、簡単なコマンドを入力するだけでMV/UX (UNIX系) の環境に入ることができ、UNIX系の基本コマンドが利用できます。

特に、電子メール等を利用されているユーザーの方には、MV/UXのファイル管理、エディタの利用等の参考になればと思います。また、このMV/UXの利用についての詳しい手引きは、次回の広報等に掲載する予定です。

1-1 MV/UX (CSHELL) 環境への入り方

MV/UX (CSHELL) の環境に入る場合は、次のようなコマンドを入力します。

```
) CSH/SEA ↵  
%
```

CSHELLの環境に入ると、% (プロンプト) が画面に表示されます。

CSHの後に/SEAを付けると、CSHELLからAOS/VSIのプログラム、例えばSLATEなどを使用することができます。

1-2 MV/UX (CSHELL) 環境からの抜け方

CSHELLの環境からAOS/VSIIの環境に戻る場合は、次のようなコマンドを入力します。

```
% BYE ↵  
)
```

1-3 CSHELLのファイル管理

CSHELLのファイル管理には、以下のようなコマンドがあります。

コ マ ン ド	機 能
pwd	作業ディレクトリを表示する
cd [ディレクトリ名]	作業ディレクトリを変更する
mkdir ディレクトリ名	ディレクトリを作成する
rmdir ディレクトリ名	ディレクトリを削除する
ls [オプション] [ファイル名]	ファイル名の一覧を表示する
cat [オプション] [ファイル名]	ファイルの内容を表示する
rm [オプション] [ファイル名]	ファイルを削除する
cp コピー元ファイル名 コピー先ファイル名	ファイルをコピーする
mv 現在のファイル名 新しいファイル名	ファイル名を変更する

[] 内は、省略可能

各コマンドの詳しい内容については、MV/UX解説書入門編を参照してください。

1-4 ファイルの作成と編集

ファイルを作成したり編集する場合は、以下のようなエディタが利用できます。

コ マ ン ド	
SLATE ファイル名	AOS/VSIIのフルスクリーン・エディタ
vi ファイル名	CSHELLのテキスト・エディタ
aed ファイル名	AOS/VSIIのエディタSEDを起動する

各エディタの利用については、利用の手引き及び解説書等を参照してください。

1-5 ファイルのプリンター出力

ファイルの内容をプリンター出力する場合は、以下のようなコマンドを入力します。

コ マ ン ド	
lp -dKLPT ファイル名	右側プリンター (A4サイズ) に出力する
lp -dKLPT1 ファイル名	左側プリンター (B4サイズ) に出力する
cli a4 ファイル名	右側プリンター (A4サイズ) に出力する
cli b4 ファイル名	左側プリンター (B4サイズ) に出力する

1-6 FORTRANの実行

CSHELL内でFORTRANプログラムのコンパイル・リンク・実行を行う場合は次のような手順で行います。

(1) コンパイル・リンク

% f77 ファイル名 ↵ …… コンパイルとリンクを行う。 f77は省略できる。

(2) 実行

% ファイル名 ↵

(3) コンパイルとリンクを別々に行う場合

% f77 -c ファイル名 ↵ …… コンパイルを行う。 f77は省略できる。

% f77 ファイル名.ob ↵ …… リンクを行う。

1-7 Cの実行

CSHELL内でCプログラムのコンパイル・リンク・実行を行う場合は次のような手順で行います。

(1) コンパイル・リンク

% cc ファイル名 ↵ …… コンパイルとリンクを行う。 ccは省略できる。

(2) 実行

% ファイル名 ↵

(3) コンパイルとリンクを別々に行う場合

% cc -c ファイル名 ↵ …… コンパイルを行う。 ccは省略できる。

% cc ファイル名.ob ↵ …… リンクを行う。

1-8 TeXの利用

C S H E L L内でTeXを利用する場合は、以下の手順で行います。

TeXの利用については、センター広報創刊号の「TeXを使ってみよう」(P97)を参照してください。

(1) JISコードへの変換

% itotj<テキストファイル名>ファイル名.tex ↵

(2) J L A T e Xの実行

% cli jlatex ファイル名 ↵

(3) 印刷の実行

% cli ndg1pt/q=kipt ファイル名 ↵

1-9 TELNET, FTPの利用

学内LANに接続されているワークステーションとのログイン(TELNET)、ファイル転送(FTP)を行うことができます。これらのコマンドを利用するためには、利用したいワークステーションのユーザー名の取得が必要です。

TELNET, FTPの利用については、センター広報創刊号「telnet, ftpの簡単な使い方」(P46)を参照してください。

(1) TELNETの利用

% telnet 相手ワークステーション・ホスト名 ↵

(2) FTPの利用

% ftp 相手ワークステーション・ホスト名 ↵